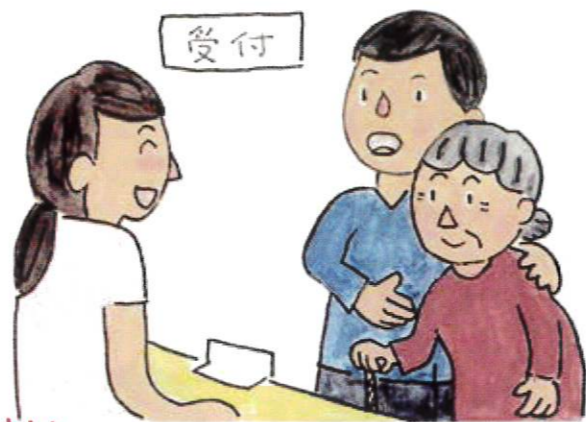


認知症の相談窓口



お近くの相談窓口までお気軽にご相談ください。

名称	所在地	電話番号
三次市地域包括支援センター	十日市東三丁目14番1号 【三次市福祉保健センター内】	(0824) 65-1146
三次市健康推進課健康推進係	十日市中二丁目8番1号	(0824) 62-6257
三次市高齢者福祉課高齢者福祉係	十日市中二丁目8番1号	(0824) 62-6145
三次市高齢者福祉課介護保険係	十日市中二丁目8番1号	(0824) 62-6387
作木支所	作木町下作木674番地	(0824) 55-2111
布野支所	布野町上布野1196番地1	(0824) 54-2111
君田支所	君田町東入君644番地1	(0824) 53-2111
三和支所	三和町上板木10038番地4	(0824) 52-3111
三良坂支所	三良坂町三良坂5042番地1	(0824) 44-3111
吉舎支所	吉舎町吉舎368番地	(0824) 43-3111
甲奴支所	甲奴町西野40番地1	(0847) 67-2121

認知症は早期受診が重要です

早期治療で改善も期待できる

認知症の原因は様々ですが、早期に発見し

早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。

事前に様々な準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりすることができます。



認知症について正しい知識をもちましょう



「普通のもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなって記憶力や判断力などが低下し、日常生活にまで支障が出る状態で、通常の老化による衰えとは違います。朝ごはんは何を食べたか思い出せないといった体験の一部を忘れるのは、普通のもの忘れといえますが、朝ごはんを食べたこと自体を忘れてしまう場合は認知症が疑われます。

普通のもの忘れ



- 体験や出来事の一部を忘れるが、体験のほかの記憶から、忘れた部分を思い出すことができる。
- もの忘れをしている自覚がある。
- 人物や時間、場所までわからなくなることはない。

→ 日常生活に大きな支障は出ない

認知症によるもの忘れ



- 体験や出来事のすべてを忘れてしまうため、ヒントがあっても、思い出すことができない。
- もの忘れをしている自覚がない。
- 人物や時間、場所までわからなくなることがある。

→ 日常生活に支障が出る

知っておきたい3大認知症の特徴

アルツハイマー型認知症

いちばん多い認知症で脳の全般的な機能低下が少しずつ進行する。早期発見と治療で進行を遅らせることができる。

血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害のあとに発症する。高血圧や脂質異常症など脳の動脈硬化の原因となる病気に注意が必要。

レビー小体型認知症

手足のふるえ、筋肉の硬直などが起こりやすい。また、実際には存在しないものが見える幻視などの幻覚症状も特徴。

認知症予備軍のうちに引き返しましょう

認知症はいきなり発症するわけではなく、一歩手前のグレーゾーンがあります。その段階のことをMCI（軽度認知障害）といい、認知症予備軍です。

この段階で、活動的な生活をするなど生活習慣を改めると、認知機能を回復させたり、維持できます。

